

ちよっぴり非日常を学び・楽しむ演習林野外セミナーを開催

平成29年度演習林野外セミナー 高校生のための「大学の森・森林科学 野外実習コース」を7月23日（日）に大野演習林で開催しました。

毎年、オープンキャンパスの関連行事として、地域貢献としての目的を掲げつつ、森林科学科の実習を模擬体験してもらうことも目的の一つとしています。

「身近に感じよう!!森林の涼・木竹材・大学生」をテーマにした体験プログラムを考えたところ、当日は、29名（うち一般の方2名）が参加し、森林科学科教員とともに大野演習林に大学バスで赴き、そこに演習林職員と本学の学生森林ボランティアサークル「森なかま」も加わり、総勢51名で次の体験プログラムを実施しました。

◆森林散策と樹木観察 （森林の涼）

森林科学科教員が演習林の溪流を中心に涼を感じながら森林を散策し森の生態を解説(写真1)



写真1



写真2

◆製材及び木工体験 （木竹材・大学生）

森なかまが身近な木材の製造過程を説明し、丸太から板に製材したり、木材でペン立てやコースターを作るのを手伝いながら交流(写真2)

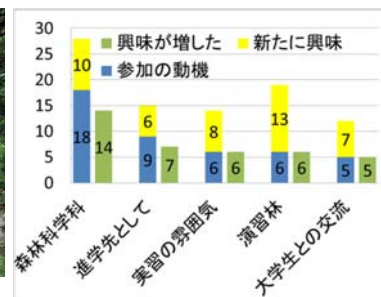
◆竹材利用体験 （木竹材）

演習林職員が利用のPRとして、竹で作った器、箸及び流しそうめん台を提供し、涼つながりのそうめんを味わいながら交流(写真3)



写真3

図1 参加動機と参加後の変化



高校生へのアンケート結果の一部を紹介しますと、参加の動機(興味)並びにその興味が増したか及び新たに興味が湧いたかの設問では、図1のとおりとなりました。興味が増した及び新たに興味が湧いた項目のベスト3は、「森林科学科」、「演習林」、「実習の雰囲気」でした(昨年は、「森林科学科」、「大学生との交流」、その他同数)。

今後とも秋も含めた年2回のセミナーは、幅広い世代の参加を呼びかけ、森林科学科の教育・研究の内容を知っていただく機会としたいと考えています。

このような理解のもと、これまでの本セミナー参加者で、本学森林科学科で勉学に励んでいる学生もたくさんいることから、今回のセミナー参加者が、本学の多くのことに興味を持ち、未来につなげてくれる学生として再会できることを心から願う次第です。